

令和4年度 自己評価書

学校名	和歌山市立八幡台小学校
校長氏名	高石順弘
作成日	令和5年3月10日

1 教育目標

強く・正しく・美しい心を持つ子どもの育成	○心身ともにたくましく、意欲を持って粘り強く考える子 ○豊かな心を持ち、思いやりのある子 ○正しい判断のもと自ら進んで実践する子
----------------------	--

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	○漢字博士試験合格90% ○全国学力・学習状況調査及び県学習到達度調査結果の市平均レベルへの引き上げ	○「心のとびら」活用5実践以上 ○いじめの解消率100%	○朝ごはん実施率100% ○生活習慣チェック合格率95%以上	○地域との交流事業3回 ○ホームページ更新随時
重点目標 【P】	◎主体的に学習に取り組む子どもの育成 ◎基礎・基本の定着 ◎学習規律の定着	◎道徳教育の充実、道徳的実践力の養成 ◎いじめの未然防止、早期発見 ◎人権意識の向上	○基本的生活習慣の確立 ○体力向上の推進	○家庭・地域との連携充実 ○中学校区における学校間連携の推進
取組の状況【D】	○校内で意思統一し、学びの共同体の考え方のもと、授業改善を行ってきた。 ○放課後フォローアップ、朝学など、個別具体の指導を行ってきた。	○道徳の教科書及び「心のとびら」などを活用し、道徳的実践力の向上に取り組んだ。 ○仲間づくりを大切にした学級経営を行ってきた。	○「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨し、保護者への啓発を行った。 ○各学期ごとに生活チェックをこない、子どもの生活状況を把握するとともに、保護者との連携協力を進めた。	○校長だよりやHPでの発信を行った。 ○学校だより等を地域の支援者に配布した。 ○学校運営協議会の提言を教育活動に生かした。
取組の成果と課題（評価結果）【C】	○授業についての考え方については、一定共通理解が進んだと考える。 ○個々の学びの質の高まりは見られるが、それが学力調査などの結果にまだ結びついていない。	○道徳における授業力の向上を目指し、子どもたちの心を磨くように心がけた。 ○必要に応じてクラスで子どもたちが話し合い、仲間意識を醸成するとともにクラス内でのつながりを強くすることができた。	○「早寝、早起き、朝ごはん」をはじめとする基本的生活習慣の定着については一定の向上がみられた。 ○運動の機会を多くとることができなかったが、持久走大会など、できる範囲でしっかりと運動することができた。	○校長だよりを継続的に発行したことで、学校の様子を保護者に伝えることができた。 ○登下校の見守り活動を、地域の方との連携で年間通して行っていた。ただ、地域の方に支援していただけるよう、必要な情報を地域に伝えた。
改善方法【A】 （次年度に向けて）	○学びの共同体の考え方を大切にしながら、より具体的に授業改善を進めていく。 ○積極的な授業公開を行い、個々の授業力の向上を図る。	○道徳の授業を柱とし、子どもたちの心を磨く機会を多くとっていく。 ○自分を大切にするとともに他の人も大切に、やさしさをもって接することができるよう、教職員から常に子どもたちに働きかける。	○生活リズムチェックを継続し、子どもの状況をしっかりと把握することに努め、必要な指導、支援を行う。 ○「早寝、早起き、朝ごはん」運動の推奨を継続する。	○地域の方と学校の予定を共有し、支援していただきやすい環境とする。 ○校長だよりやHPでの発信を継続的に行う。 ○地域の方が学校に来ていただきやすい環境整備を行う。

3 その他の課題

○気持ちのよい挨拶ができるための環境を整えたい。 ○保護者や地域とのよりよい関係性の構築を図っていきたい。
--